

第V章 「国民の森林」^{もり}としての国有林野の取組

1 国有林野に期待される役割

- ◇国有林野は、我が国の森林面積の3割を占め、地球温暖化の防止、国土の保全、水源のかん養等の公益的機能の発揮に大きな役割を果たす国民共通の財産。
- ◇屋久島、白神山地、知床（陸域）といった世界自然遺産登録地域のほぼ全域が国有林であるように原始的な天然生林が多く、貴重な野生動植物の生息・生育地としても重要。
- ◇また、国立公園特別地域の6割を占めるほか、海岸付近や都市近郊にも分布し、保健休養の場や身近な森林とのふれあいの場としても重要。

2 「国民の森林」を適切に管理するための様々な取組

- ◇国民の多様化する要請に適切に対応するため、国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって3つの類型に区分し、長伐期化、複層林化、広葉樹林化等の公益的機能を高度に発揮させるための施業を積極的に実施。

国有林野の機能類型区分ごとの目指すべき森林の姿

機能類型区分（合計759万ha）		目指すべき森林の姿	それぞれの森林の事例
公益林	水土保全林 502万ha (66%)	国土保全 タイプ 149万ha (20%)	樹木の根が土壌に張り巡らされ、落葉層が保たれ、下草の発達が良好な森林  奥尻地区国有林（北海道森林管理局）
		水源かん養 タイプ 353万ha (46%)	隙間が多く雨水を吸収しやすい土壌を有し、多様な樹種で構成される根や下草の発達が良好な森林  鏡野山国有林（九州森林管理局）
	森林と人との 共生林 211万ha (28%)	自然維持 タイプ 152万ha (20%)	原始的な森林生態系を保つ森林や、貴重な動植物の生息・生育に適した森林  剣山国有林（四国森林管理局）
		森林空間 利用 タイプ 59万ha (8%)	優れた自然美を有する森林や、史跡、名勝等と一体となって特色ある景観や歴史的風致を構成する森林  桐山国有林（関東森林管理局）
資源の循環利用林 46万ha(6%)		成長力が旺盛で優れた木材等の林産物の生産に適し、林道等が整備された森林  下足沢山国有林（東北森林管理局）	

資料：林野庁業務資料

- 注：1）面積は、平成19年4月1日現在の数値である。
2）機能類型区分外（約8千ha）は、資源の循環利用林に含む。

- ◇京都議定書の目標達成に向けて森林吸収源対策を着実に推進するため、平成18年度には前年度より5千ha多い約6万3千haの間伐を実施。また、森林管理署等の建物への地域材の利用や森林土木工事における間伐材の利用を積極的に実施。
- ◇原始的な森林生態系等が多く残されている貴重な森林については、保護林や保護林相互を連結する緑の回廊を設定。また、保護林の設定後の状況変化を客観的に把握するためのモニタリング調査を平成19年度から開始。
- ◇水源かん養や土砂流出防備等を図るため、国有林野の88%を保安林に指定。また、安全で安心できる暮らしを実現させるため、台風等により荒廃した地域を早期に復旧させるための治山事業を計画的に実施。

<事例：森林管理署の庁舎に地域材を使用した取組>

東北森林管理局さんぼちかみかた三八上北森林管理署では、庁舎を新築するにあたり、地域材を積極的に利用している。事務室の構造材にはカラマツの大断面集成材を使用することにより、柱のない広い室内を確保したほか、外壁や土台には腐食に強い青森ヒバを、内装材には青森ヒバ、スギ、アカマツを用いている。同署では、地域材を適材適所で活用することにより、来訪者に地域材や木造建築の良さを広めている。



保護林の設定状況

(単位:箇所、千ha)

名称		目的	箇所数	面積
保護林の種類	森林生態系保護地域	森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存	28	494
	森林生物遺伝資源保存林	森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源の保存	12	35
	林木遺伝資源保存林	林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存	324	9
	植物群落保護林	希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群等の保存	363	181
	特定動物生息地保護林	希少化している野生動物とその生息地・繁殖地の保護	36	21
	特定地理等保護林	岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地の特殊な地形・地質の保護	35	35
	郷土の森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保存	35	4
	合計		833	778

資料：林野庁業務資料

注：平成19年4月1日現在

<事例：関係機関と連携した台風災害地の復旧>

平成17年9月4日から6日にかけて襲来した台風14号に伴う豪雨により、宮崎県南那珂郡北郷町の板谷国有林内において、約11haの地すべり性崩壊が発生した。この崩壊により送電線用鉄塔が2基転倒したほか、下流にある町営の公園等が大きな被害を受けた。

九州森林管理局宮崎南部森林管理署は県や町と連携し、円滑な復旧事業の実施に努め平成19年3月に治山工事が完成した。



- ◇森林浴や自然観察等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定。また「遊々の森」、「ふれあいの森」、「法人の森林」を推進し、森林づくりや森林環境教育等に取り組む多様な主体に対してフィールドを提供。
- ◇国有林は、我が国の国産材供給量の約2割を占めており、国産材の安定供給を推進する上で重要な側面を有しているほか、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材等を計画的に供給。

<事例：都市近郊の「レクリエーションの森」>

東京都八王子市の高尾山国有林は、都市近郊にある自然休養林として多くの方々に親しまれている。

関東森林管理局高尾森林センターでは、森林インストラクターとも連携して都市住民を対象に自然観察会や炭焼き体験などを行い、森林・林業への理解の醸成に努めている。



<事例：「遊々の森」を活用した森林環境教育の支援>

広島県安芸高田市と安芸高田市教育委員会は、広島北部森林管理署との協定により高地山国有林に「遊々の森・わくわく高地の森」を設定している。森林管理署の職員が森林教室の講師になり市内の小学生らを対象に森林観察や森の働きについての講義を行い、森林環境教育の推進に努めている。



<事例：「ふれあいの森」における国民参加の森林づくり>

高知県香美市物部町の別府山国有林に設定された「ふれあいの森」では、高知中部森林管理署と協定を結んだ特定非営利活動法人が伐採跡地での広葉樹の植林や下刈等を行い国民参加の森林づくりを実践している。



<事例：国有林野をフィールドとした企業の森林づくり>

関東森林管理局では、茨城県高萩市内の国有林において、持続可能な社会の実現を目指すH社と「法人の森林」の契約を締結している。

同社は、この森林を「悠々の森林」と名づけ、社員やその家族等が林業を体験したり森林とふれあう場として利用し、自然環境の保全に関する社員教育等に活用している。



<事例：「鬼太鼓」の森の活動>

新潟県佐渡島では、五穀豊穰、家内安全、商売繁盛などを願い奉納されてきた「鬼太鼓」が500年以上にわたり大切に引き継がれてきており、近年では、日本の代表的な神事芸能として島内外で披露されている。下越森林管理署は、鬼太鼓の伝承活動に取り組む「鬼太鼓の森づくり協議会」との間で「木の文化を支える森づくり活動に関する協定」を締結した。太鼓やばちの材料となるケヤキやホオノキが持続的に供給されるよう植樹活動を実施している。



3 国有林野事業における改革の取組

- ◇「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」において、平成22年度末までに国有林野事業の一般会計化、一部独立行政法人化を検討することとされたところ。また、緑資源機構の廃止に伴い、これまで緑資源機構が行ってきた水源林造成事業を国有林野事業の一部を移管する独立行政法人に引き継ぐこととされたところ。この検討に当たっては、国有林野が果たしている公益的機能の重要性を踏まえつつ、幅広い観点から慎重に行うこととしている。